



考えよう、食品ロスを減らすためにできること

食品ロスとは、食べ残し、売れ残りや消費期限が近いなどの理由で、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロス削減推進法において、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」と定められています。普段の買い物や食事で工夫できることがないか、一人ひとり日々の生活を振り返ってみましょう。

お問い合わせは
クリーン推進課
☎421-6768へ

4年度の国内の食品ロスは約472万t

日本の食品ロスの量は年間約472万t。国民一人当たりに換算すると年間約38kg、1日にすると約103gになります。おにぎり1個の重さに近い量を毎日一人が廃棄していることになります。

地球温暖化への影響を考え、また、食料の安定供給のためにも、普段から食品ロスを減らす意識を持つことが大切です。

食品ロスを減らすためには？ ～おいしく楽しく食べきろう！～

食品ロスの発生を抑制するためには、「買すぎない」・「料理を作りすぎない」・「注文しすぎない」ことに注意し、「食べきる」ことが重要です。

■買い物のとき

- ・買い物前にスマートフォンで冷蔵庫の中身を撮影して、今ある食材をチェックする
- ・すぐ使う食品は棚の手前から取る「てまえどり」を心がける



■調理のとき

- ・残っている食材から使う
- ・食べきれる量を作る
- ・残った料理は新しい献立にリメイクする

■外食のとき

- ・料理の量を選べる店や、食品ロス削減に配慮したお店を選ぶ
- ・食べられる量を注文する
- ・どうしても残してしまった料理は、お店と相談して持ち帰ることも検討する

■冷蔵庫や食品庫の整理整頓をしましょう

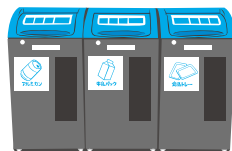
普段から冷蔵庫や食品庫を整理整頓しておく、食材の無駄だけでなく食材を探す手間を減らすことができます。

(整理術の一例)

- ・食材などの置く場所を決める
- ・週に1回冷蔵庫の中身をチェックする日をつくる

拠点回収や再くるくん協力店を活用し、 ごみの減量やリサイクルにご協力ください

市役所や公民館などの公共施設で白色トレイや廃食用油の回収ボックスを設置しています。ごみの集積場所で資源物として収集していない白色トレイや廃食用油は、拠点回収を利用して資源化にご協力ください。



また、市では、店頭で紙パックなどの回収ボックスを設置して、ごみの減量や資源化に取り組んでいる店舗を再くるくん協力店として認定しています。現在19店舗が認定されており、協力店にはボタン電池など市が収集できないものや白色トレイや透明トレイ、卵パックなど資源物として収集していないものを回収している店舗もあります。ご利用になる際は、各店舗でのルールを守って排出しましょう。

どーんと祭で リサイクルフェアを開催します

11月9日(土)・10日(日)に八千代どーんと祭でリサイクルフェアを行います。ごみ分別などのパンフレットの配布や、家庭から出る廃食用油の回収、雑がみの禁忌品・コンポスト・EM容器・不法投棄防止ポスターの展示、リサイクルに関するアンケート(粗品あり)などを行います。



協力店の詳細については、市ホームページをご確認ください。右のコードから見られます。



食料品の寄附に関する取り組み

食品ロスの削減につながる取り組みとして、市内では年3回、社会福祉協議会やふれあいプラザに回収ボックスを設置し、「フードバンクちば」によるフードドライブを行っています。

フードドライブとは、家庭で余った食品を集めて、福祉団体に寄附する活動です。詳細は、社会福祉協議会☎483-3021、ふれあいプラザ☎487-1511またはフードバンクちば☎043-301-4025へお問い合わせください。

他にも、カスミ八千代大和田店、カスミフードスクエアゆりのき台店、イオンモール八千代緑が丘では、社会福祉協議会と連携して、食料品を回収するコンテナを設置しています。詳しくは、各店舗または社会福祉協議会までお問い合わせください。

市民の皆さまのご協力をお願いします。



◀イオンモール八千代緑が丘でのフードドライブの回収ボックス(2階モールインフォメーション前)



カスミフードスクエアゆりのき台でのフードドライブの回収ボックス